

9 保守点検と不具合時の対応

長時間の使用で、電線被覆や電装品の経年劣化・ボルトねじ類のゆるみ等が生じます。
事故防止のため定期的な保守点検をおこない、不具合があれば補修・部材交換をお願いします。

主な不具合の現象（保守点検）		点検箇所		対処方法
1.フレーム・ベースの 変形・脱落等の破損がある。	➡	看板全体 (破損箇所以外の部材も含む)	➡	交換 締め直し・補充
2.キャスターストッパーの ONとOFFが切り替わらない。	➡	キャスター	➡	交換
3.表示板にゆがみ・変形・破損がある。 表示板が割れている。	➡	表示板廻り	➡	交換 交換 補修・交換
4.著しい錆によって強度や機能に 障害がある。	➡	ベース廻り		補修・交換 補修・交換
		本体廻り	➡	補修・交換
		看板内部		補修・交換 補修・交換 補修
5.蛍光灯が点灯しない。 チラつく・点滅をくりかえす。 内部から異音が聞こえる。	➡	電装品廻り	➡	交換 交換 交換 補修・交換
6.煙、臭い、こげ跡がある。				
7.点滅ユニットが点灯しない 内部から異音が聞こえる	➡	電装品廻り	➡	交換 交換 補修・交換
		一次側電源		補修
8.漏電ブレーカーが落ちる。	➡	電装品廻り		交換 補修・交換
		看板本体	➡	補修
		ベース廻り		補修
		一次側電源		補修

保守点検の際の注意事項

- 電源を切った状態で保守点検を行ってください。
やけどや電装材破損の原因になります。
- 交換品は指定の製品をご使用ください。
指定品以外の使用は、強度不足や故障の原因になります。
- 汚れを取る場合に、シンナーや溶剤で拭かないでください。
変色・劣化・破損の原因になります。軽い汚れは、水にひたし絞った柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤にひたし絞った柔らかい布でふきとり、中性洗剤の成分が残らないように乾いた柔らかい布で仕上げてください。

タテヤマアドバンス

アルミスタンド看板

ADO-900NⅡ矢印点滅2・点滅2 施工要領書

ADO-930NⅡ矢印点滅2
ADO-920NⅡ点滅2・930NⅡ点滅2

このたびはタテヤマアドバンスの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品を正しく安全にご使用いただくために、この施工要領書をよくお読みください。

この施工要領書は、お客様にて大切に保管し、
専門業者による保守点検の際にお渡し願います。

<もくじ>

1. 注意事項	1
2. 製品各部の名称と仕様	2
3. アース線の取付	3
4. キャスターの取扱い	3
5. 転倒防止用「ウエイト」について（オプション）	3
6. 表示板の脱着（蛍光灯の交換）	4
7. 蛍光灯スイッチ（内部照明）の操作	5
8. 設置完了チェック	6
9. 保守点検と不具合時の対応	7

1 注意事項

この施工要領書は、屋外広告業の届け出がある看板工事従事者を対象としています。
施工完了後であっても、安全維持のために保守点検が生じますので、この要領書は大切に保管してください

●環境の悪い場所への設置はしないでください。

塩害が発生する場所、腐食性ガスが発生する場所、常に振動・衝撃が発生している場所、常に高温になる場所、粉塵が多い場所、引火する危険性がある場所などへの設置はしないでください。

●設置される場所や環境により、転倒防止措置を施してください。
転倒防止措置としてサインスタンドのオプション品「ウエイト」を推奨します。

●傾斜地や段差のある場所に設置する場合には、
看板を水平に設置できる安定した架台を用意してください。
傾斜地や段差のある場所に設置すると、転倒の原因になります。

●製品に何かを取り付けたり、改造しないでください。
看板強度の低下や電装品の故障の原因になります。

●電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず有資格者が行ってください。
漏電による火災の原因になります。

●AC100Vでご使用ください。
200Vでは使用できません。電装品が破損します。

●アースは必ず取り付けてください。
製品にアース線は付属しておりません。施工店様でご用意ください。

●看板を屋外に設置する場合は、防水コンセントを使用してください。
防水コンセントがない場合は、防水コンセントを新たに設置してください。漏電の原因になります。

●電源コードを継ぎ足して看板を設置しないでください。
電源コードの届く範囲にコンセントがない場合、コンセントを新たに設置してください。
本製品のコード長さは2mです。

●看板専用の漏電ブレーカーを設置してください。
漏電が原因で、看板以外の電気製品に被害を与えるおそれがあります。

●蛍光灯の交換は、必ず適合品を使用してください。
適合品はP.2仕様表（蛍光灯）参照。
誤使用は感電、電装品の故障、発煙、火災の原因になります。

●蛍光灯の交換やお手入れは、必ず電源を切ってから行ってください。
感電・やけどの原因となります。

●点灯中や消灯直後は蛍光灯や安定器が高温となっていますので、手を触れないでください。
やけどの原因となります。

●蛍光灯やLEDは不点灯や点滅状態で使用または、放置しないでください。
放置すると感電、電装品の故障、発煙、火災の原因になります。
蛍光灯・LEDが露出していないため、正常に点灯していなくても気付かない場合もありますので、ご注意願います。

●表示された電源電圧（定格電圧±6％）以外の電圧で使用しないでください。

●設置時には、キャストーストッパーを固定（ロック）してください。
わずかな風でも動きまわります。

●点滅ユニットの点滅スピードは変更できません。

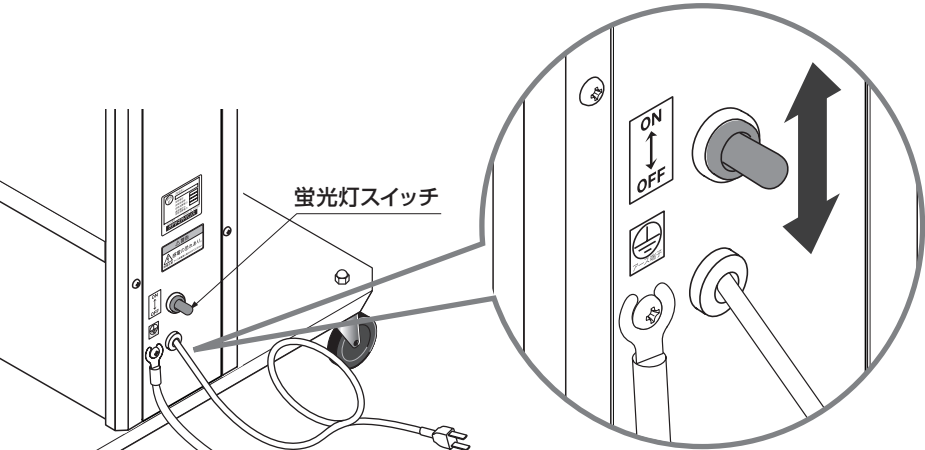
8 設置完了チェック

■看板本体の確認	☐ キャストーストッパーは固定したか ☐ アースは取ったか
■表示板の取付け確認	☐ 開閉枠は確実に閉めてあるか ☐ キズ・損傷はないか
■内部照明・点滅ユニットの点灯確認	☐ 全点灯するか ☐ ブレーカーは落ちないか ☐ 電源・防水コンセントの確認

必ず以上の内容でチェックをお願いします。

7 蛍光灯スイッチ（内部照明）の操作

内部照明（蛍光灯）の点灯・消灯は、蛍光灯スイッチで行います。



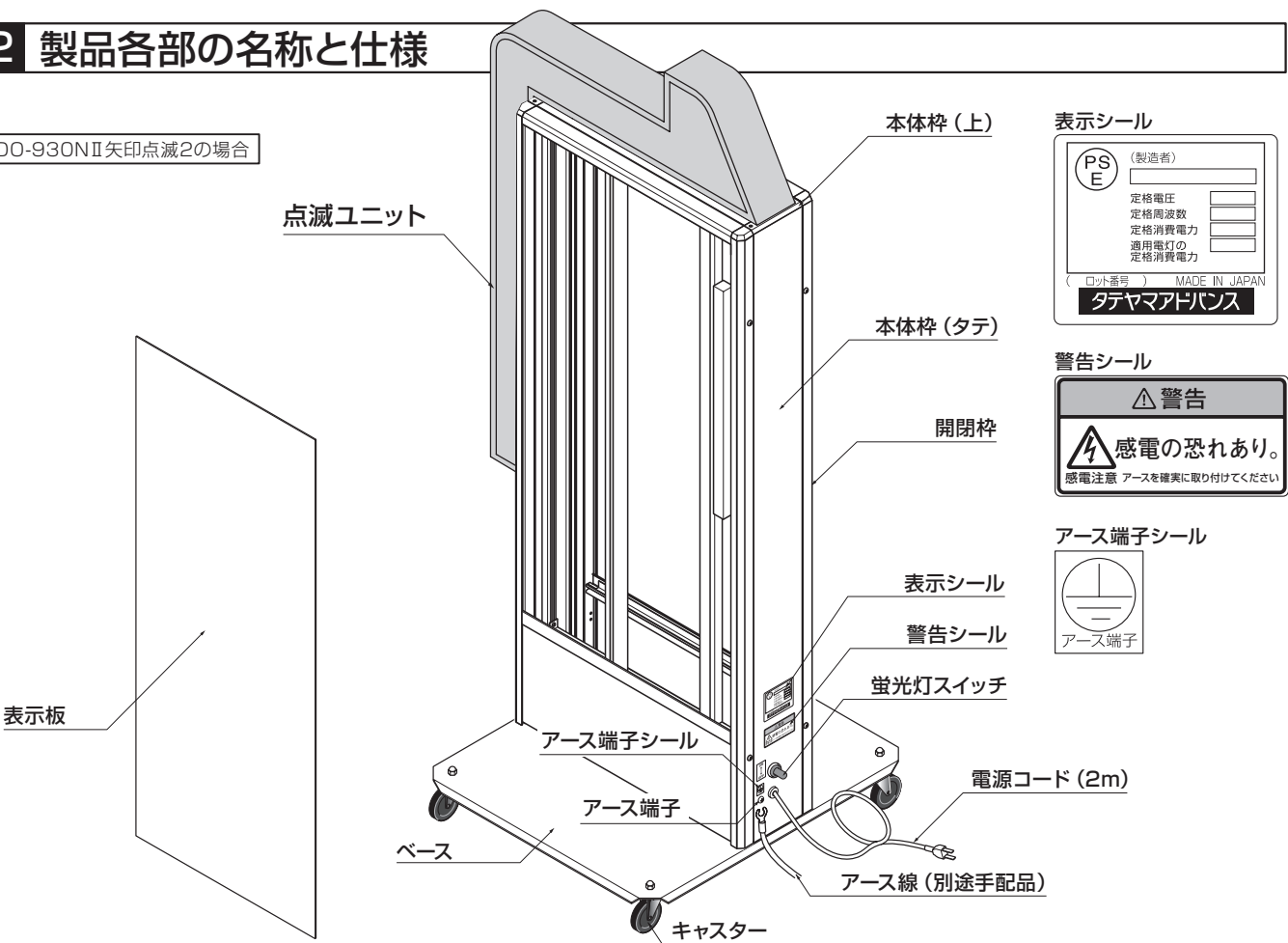
ON
点滅ユニット（LED）と
内部照明（蛍光灯）が点灯。

OFF
点滅ユニット（LED）のみ
点灯。

※点滅ユニットのON・OFFスイッチ
はありません。
通電中、点滅ユニットは常時点灯
しています。

2 製品各部の名称と仕様

ADO-930NII矢印点滅2の場合



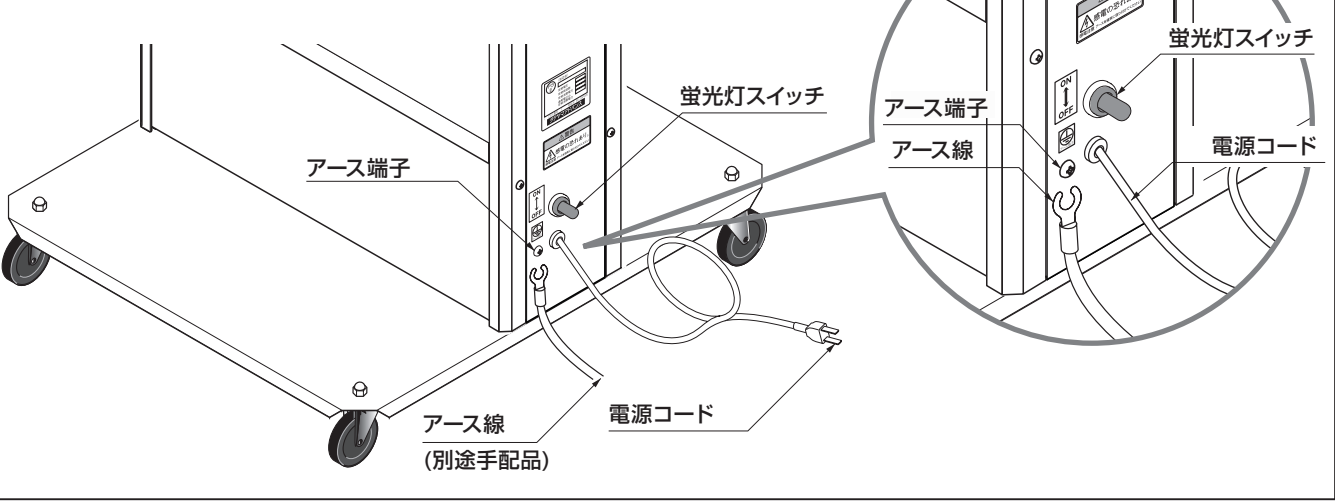
仕様	仕様		
	ADO-930NII矢印点滅2の場合	ADO-930NII点滅2の場合	ADO-930NII点滅2の場合
姿図			
品番	ADO-930NII矢印点滅2	ADO-920NII点滅2	ADO-930NII点滅2
サイズ (W×H×D)	470×1328×200 (総高1583.5)	600×1398×200 (総高1500)	470×1328×200 (総高1400)
有効表示寸法 (W×H)	420×1130	550×1190	420×1130
重量	28kg	32kg	26kg
蛍光灯 (皮相電力)	直管スタータ形 FL-40 2灯 (61VA)	直管スタータ形 FL-40 2灯 (61VA)	直管スタータ形 FL-40 2灯 (61VA)
点滅ユニット (皮相電力)	LED-22W (23VA)	LED-26W (27VA)	LED-26W (27VA)
電圧	100V		
周波数	50Hz/60Hz共用		
電源コード	差込みプラグ付キャプタイヤケーブル (2m)		
フレーム	アルミニウム合金押出形材 (JIS A6063S-T5) 〈シルバー〉		
表示板	アクリル板 乳白色 (3.0mm)		
ベース	熱間圧延鋼板:アクリル樹脂塗装〈シルバー〉		
キャスター	鋼板/ゴム		

※蛍光灯の交換は、必ず上記記載の適合品をご使用ください。

3 アース線の取付

電源コード横のアース端子でアースを取ってください。

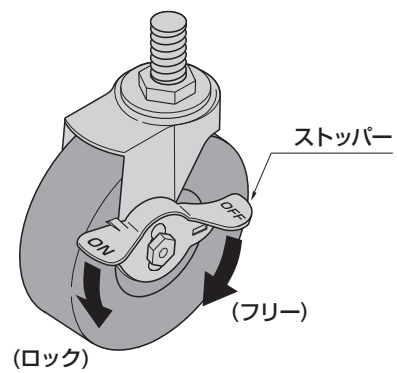
※アース線は、製品に付属しておりません。
施工店様でご用意ください。



4 キャスターの取扱い

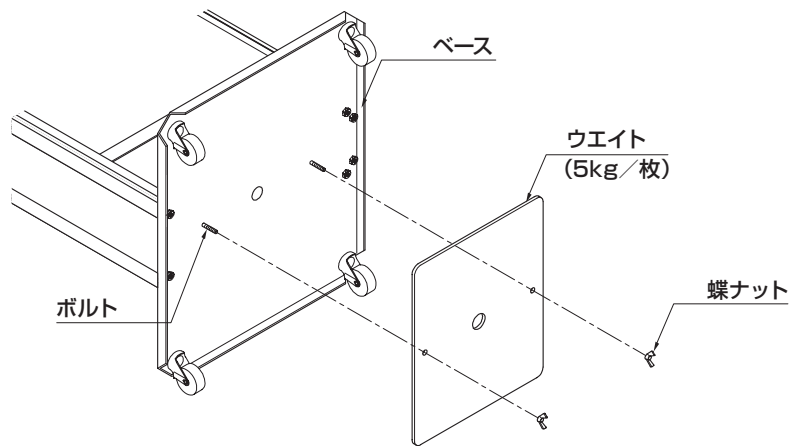
設置時には、ストッパーを固定（ロック）してください。
ストッパーのONの面を押し下げるとキャスターが固定（ロック）
されます。反対側のOFF面を押し下げると解除（フリー）されます。

お願い 移動する時はストッパーを解除（フリー）してください。
また、路面の凸凹や溝でキャスターに衝撃が加わらない
ように、注意してください。
キャスターが破損します。



5 転倒防止用「ウエイト」について（オプション）

転倒防止用にウエイトを看板底部に装着できます。
ベース裏面の蝶ナットを外し、ボルト部にウエイトを装着します。
装着後、蝶ナットでしっかり再締め付けしてください。

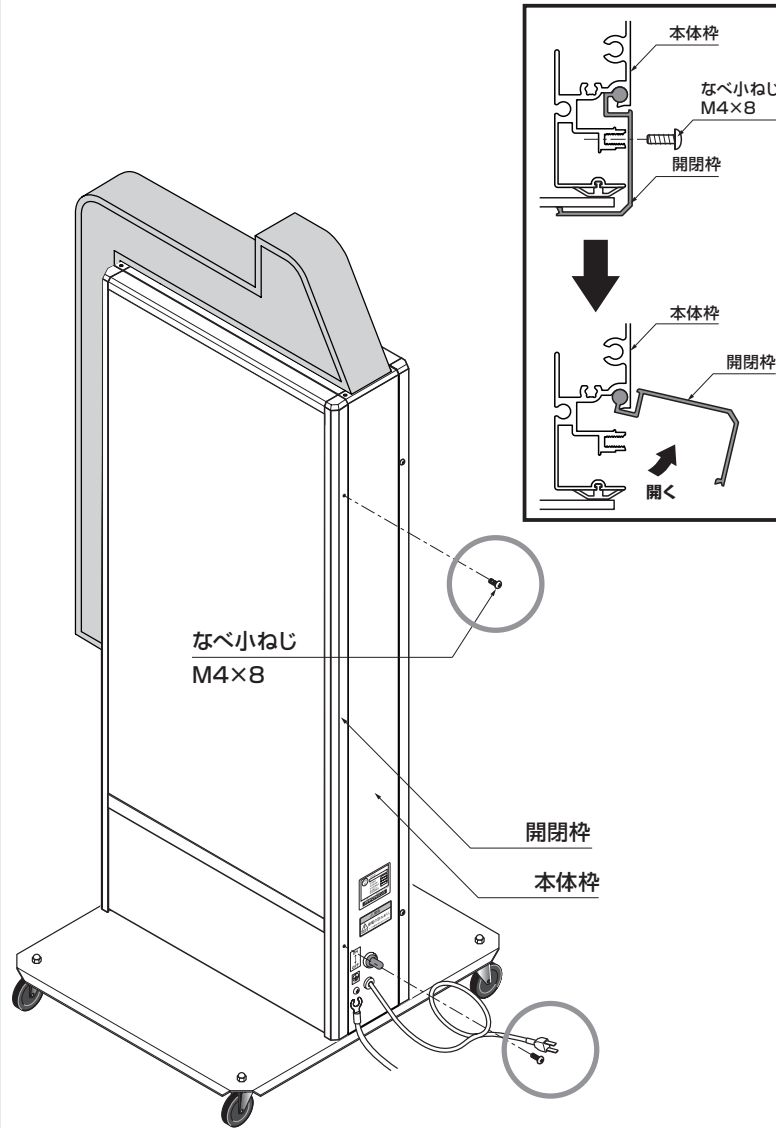


●ウエイト対応表

品番	ウエイト
920NⅡ点滅2	3枚まで (15kg)
930NⅡ点滅2 930NⅡ矢印点滅2	2枚まで (10kg)

6 表示板の脱着（蛍光灯の交換）

1.開閉枠のなべ小ねじM4×8を外し、開閉枠を
開いてください。



2.表示板は、横方向にスライドして外して
ください。
蛍光灯の交換は、表示板の片側を外して
行ってください。

